

授業科目名	コーチ学概論		授業形態	講義・演習	授業科目区分	専門科目 (基礎科目B)			
担当教員名	金高 宏文			補助担当者名					
単位数	1 単位	履修年次	2年次		受け入れ人数	130名程度			
授業の概要	本講義では、優れたコーチ・指導者になるために必要とされる適切な人間関係を結ぶコミュニケーション能力、コーチング現場やトレーニング現場において発生する諸問題を合理的に整理・解決する課題解決のスキル、選手を取り巻く様々な内外的および外的環境要因をマネジメントする能力等について解説する。そのために、受講生自身が受けた(あるいは行なった)コーチングを振り返り、かつ卒業後のスポーツリーダーとしての姿を展望しながら、コーチングの実践能力の基礎を育成する。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技指導力、指導者基礎力、専門的な知識・ 教養 ()	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	認知的領域	・自分自身が受けたコーチングを振り返り、自らが関わろうとする将来のコーチング活動への手がかり・指針を説明する。 ・スポーツコーチングの基礎的な理論やスキルを理解する。							68
	情意的領域	コーチングに関わる事象や理論について興味・関心を持ち、それを積極的にかつ受講生同士で協力して探求しようとする。							32
技能的領域									
成績評価の基準	毎時間、WebClassを用いて、授業ワークを行う。そのため、i-PadもしくはPCを持参すること。ワーク課題は、書き込み度で評価する。また、授業内容等の理解は、2回の課題レポートに対する達成度を基に評価する。								
テキスト、教材 参考書	i-Padを持参すること。授業に必要な資料は、「WebClass」よりダウンロードすること。 参考図書として、「コーチング学への招待(日本コーチング学会編, 2017, @2,916円)」「リーダーが身につけたい25のこと(鈴木義幸: デイスクーパー21, 200, @1,500円)」「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『イノベーションと企業家精神』を読んだら(岩崎夏海: ダイヤモンド社, 2015, @1,600円)」を推薦する。								
履修条件・ 関連科目	運動学概論, トレーニング科学概論, スポーツトレーニング実践論を履修しておくことが望ましい。	備考(教員メッセージ含む)	将来、スポーツや武道に積極的に関わろうと考えている学生の受講を望む。						
オフィス・アワー	火曜日 15:00~16:00大学院棟3階 教員室4								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	金高 宏文	コーチングの理論概要: Instruction, Teaching, Coaching, Managementの相違点	WebClassで授業内容の復習(15分)						
2	"	コーチングの理論1: 傾聴・質問のスキル	WebClassで授業内容の復習と1回目レポート作成に向けて準備(30分)						
3	"	コーチングの理論2: 質問・承認のスキル	WebClassで授業内容の復習と1回目レポート作成に向けて準備(30分)						
4	"	コーチングの理論3: 課題解決のスキル(GROWモデルの活用)	1回目レポート(30点)提出とWebClassで授業内容の復習(15分)						
5	"	コーチングの理論4: チーム・組織を動かすリーダーシップ, マネジメント力など	WebClassで授業内容の復習と2回目レポート作成に向けて準備(30分)						
6	"	コーチングの理論5: 運動を創発・促発する指導技術など	WebClassで授業内容の復習と2回目レポート作成に向けて準備(30分)						
7	"	コーチングの理論6: 成長し続けるためのコーチの自己点検と自己組織化	WebClassで授業内容の復習と2回目レポート作成に向けて準備(30分)						
8	"	補足及び授業評価	2回目レポート(30点)提出						